

第9回

学生と教職員の交流の場

学内と社会を結ぶ交流の場

琉大21世紀フォーラム



日時

平成20年 1月25日(金)
17:15~18:15

場所

琉球大学法文学部新棟215教室

話題「ネアンデルタール人類の盛衰と現生人類の拡散」

発表者：石田 肇（琉球大学医学部教授）

赤澤威氏を代表とする調査隊は、1987年から、シリアの北部、アフリン地区にあるデデリエ洞窟の発掘を続けている。この20年におよぶ調査の中で、1993年に、第11層からほぼ完全な骨格のデデリエ1号が、1997年には、第3層から頭蓋と四肢骨等の一部が残存するデデリエ2号が見つかり、話題を呼ぶ。1号および2号人骨は、幼児にもかかわらず、ネアンデルタール人類の特徴を明瞭に示していることが分かった。同じ遺跡で、保存が良く、ほぼ同年代のネアンデルタール幼児が見つかったことは、世界で初めてであり、西アジアでのネアンデルタール人類の消長、また、彼らの成長を考える上で、貴重な資料である。その後、現生人類がアフリカで出現し、世界中に広がる中で、東アジア、日本列島への拡散も始まる。日本各地でみられた縄文時代人骨のいわば「旧石器時代人」的特徴は、弥生時代から各地で失われてくる。この様相についても紹介したい。

発表者 プロフィール



石田 肇
琉球大学教授

略歴

- ・昭和56.3 山形大学医学部医学科卒業
- ・昭和56.4 長崎大学・助手・医学部解剖学第二講座
- ・昭和59.1 札幌医科大学・助手・解剖学第二講座
- ・昭和63.7 札幌医科大学・講師・解剖学第二講座
- ・平成 3.4 札幌医科大学・助教授・解剖学第二講座
- ・平成10.5 琉球大学・教授・医学部解剖学第一講座
- ・平成15.4 琉球大学・教授・医学部形態機能医科学講座解剖学第一分野